

city & life

都市のしくみと暮らし

no. 87

spring

2008



特集

「^う美味^まし国」の景観論——
フランス、都市景観の新たな創造



表紙— フォール・サン・タントワヌ(パリ)
(関連記事p10)

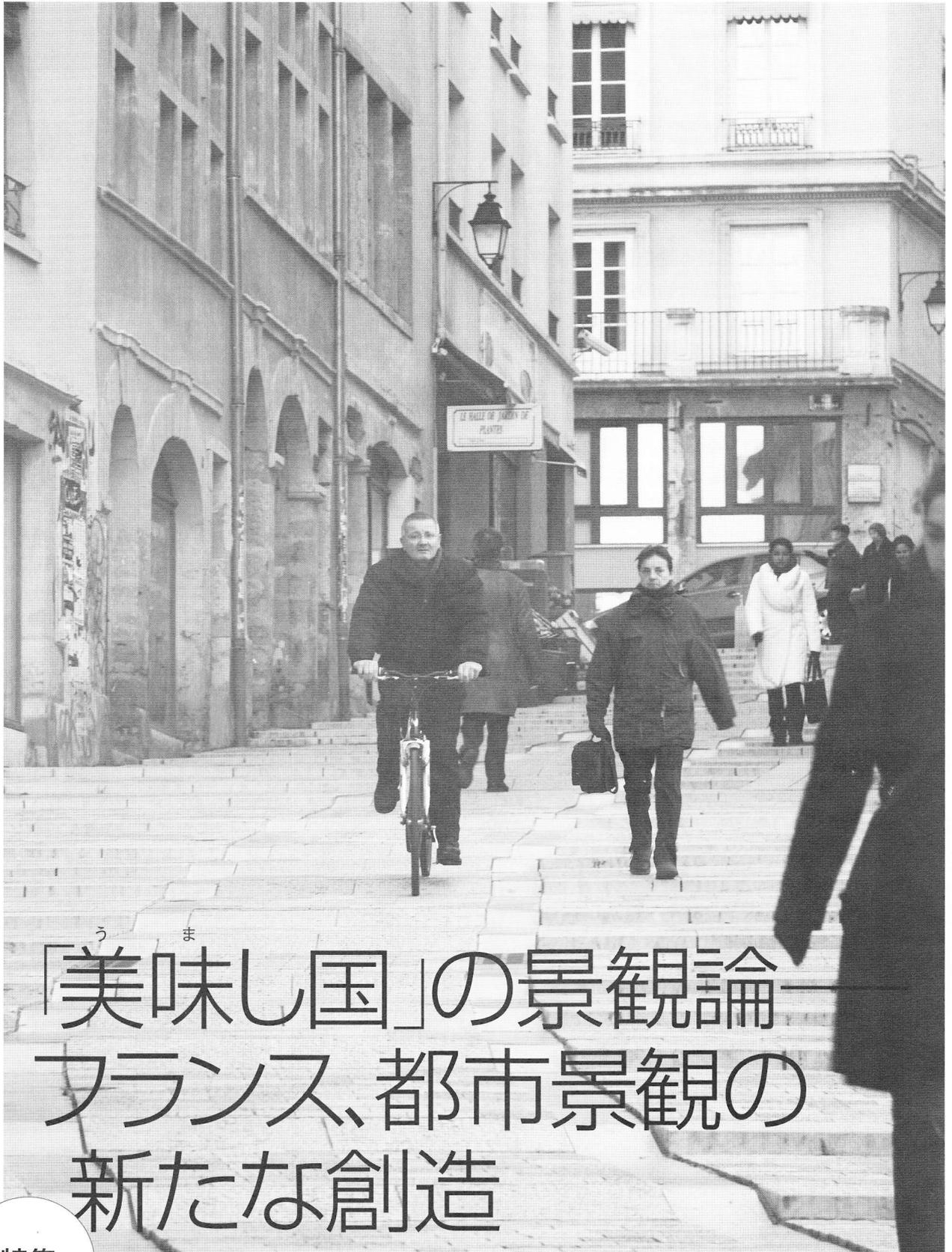
裏表紙— バント・ドゥ・ラ・クロワ・ルス(リヨン)
(関連記事p17)

photo:佐藤真

特集

「^う美味^まし国」の景観論 —
フランス、都市景観の新たな創造

contents	インタビュー フランスの景観整備の系譜 和田幸信	2
	インタビュー&サーベイ 美味しい都市景観をどのようにつくっていくか ミッシェル・クグリーエニュ ビエール・フランチェスキーニ	8
	インタビュー&サーベイ 都市景観の改善とデザイン・マネジメントの 必要性 現代建築を組み込んだ新たな都市的風景の創造 ビエール・ミッケローニ 鳥海基樹	25
	ブックナビ 「パリ本」に見る「都市」の愉しみ方	36
	グラビア 美味しい景観	9, 19, 29
	back number・information	40



「^う「^ま美味し国」の景観論— フランス、都市景観の 新たな創造

特集

フランスには古くから「美(うま)し国」という言葉がある。自らの生きる場所を、「美しい」ところと称したのだ。「美し」は、「旨し」であり、「美味し」でもある。グルメの国フランスとは、じつは景観においても、「美味し」=グルメの国という意味でもあった。景観法の施行によって日本でもにわかに景観保全への関心が高まっている。しかし、そこで言われる「美しさ」の中身についての議論はほとんどなされていない。「美」という言葉だけが、もてあそばれているようにすら見える。さらに言えば、都市計画、都市開発との連携もあいまいなままであり、土地利用計画との連動となると皆無といっている。景観保全および新たな都市景観の創造について、景観先進国であるフランスを事例に、都市計画との関わりから捉え直してみたい。

photo: 佐藤真「パント・ドゥ・ラ・クロワ・ワルスのグラン・コット坂(リヨン)」(関連記事:p17)